

No. 23-33

2024年3月12日

ランドクルーザーが3年連続で車名別盗難ワースト1

～「第25回自動車盗難事故実態調査結果」を発表～

一般社団法人日本損害保険協会（会長：新納 啓介）は、25回目となる「自動車盗難事故実態調査」を実施しました。

本調査は2000年度から自動車盗難防止対策の一環として、自動車車両本体盗難や車上ねらいの実態調査を実施しているもので、今回が25回目となります。

1. 実態調査結果（概要）

- ・2023年の車両本体盗難は、ランドクルーザーが3年連続で車名別盗難ワースト1
- ・車両本体盗難全体に占める割合は、アルファードが増加傾向
- ・車両本体盗難は、深夜から朝にかけて多く発生

2. 実態調査結果（詳細）

（1）車両本体盗難の車名別盗難状況 —ランドクルーザーが車名別盗難ワースト1—

- ・2023年の車両本体盗難の車名別盗難状況のワースト1は、3年連続でランドクルーザーとなりました。
- ・アルファードが車両本体盗難全体に占める割合は、2022年の6.9%から2023年の14.0%と増加傾向にあります。
- ・車両本体盗難の被害は特定の車種に集中する傾向が続いています。

車名別盗難状況—車両本体盗難

※構成比の各項目は小数点第2位を四捨五入しているため、表記の単純合計値が100%にならない場合があります。

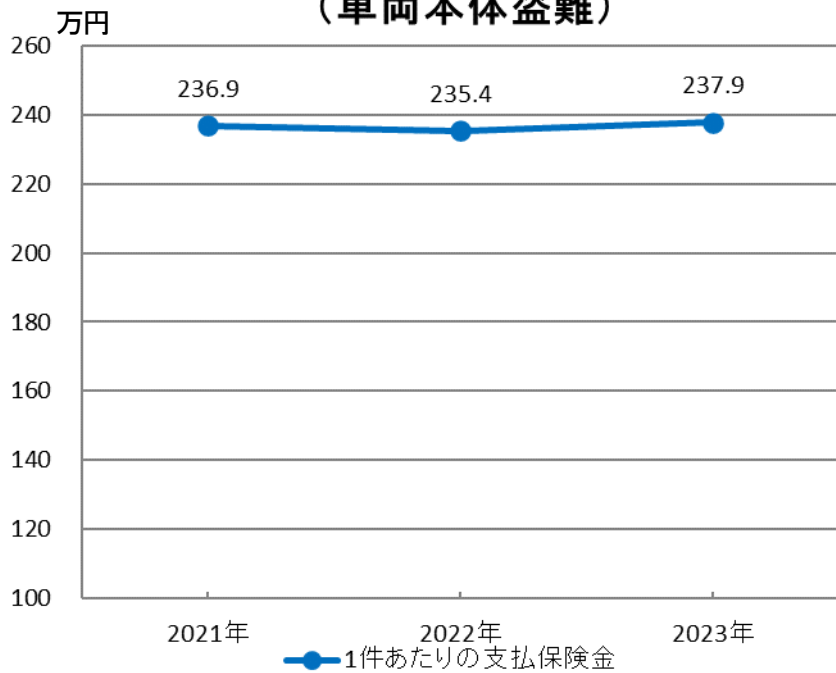
車両本体盗難

2021年				2022年				2023年			
順位	車名（車種）	件数	構成比	順位	車名（車種）	件数	構成比	順位	車名（車種）	件数	構成比
1	ランドクルーザー	331	13.6%	1	ランドクルーザー	450	16.9%	1	ランドクルーザー	383	14.7%
2	プリウス	266	11.0%	2	プリウス	282	10.6%	2	アルファード	364	14.0%
3	レクサスLX	156	6.4%	3	アルファード	184	6.9%	3	プリウス	307	11.8%
4	アルファード	138	5.7%	4	レクサスLX	156	5.9%	4	レクサスLX	120	4.6%
5	クラウン	81	3.3%	5	レクサスRX	90	3.4%	5	ハイエース	60	2.3%
6	ハイエース	78	3.2%	6	ハイエース	83	3.1%	6	クラウン	53	2.0%
7	レクサスRX	58	2.4%	7	クラウン	72	2.7%	7	ヴェルファイア	43	1.7%
8	ヴェルファイア	41	1.7%	8	アクア	55	2.1%	8	レクサスRX	42	1.6%
9	レクサスLS	36	1.5%	9	C-HR	43	1.6%	9	ハリアー	37	1.4%
	ハリアー	36	1.5%	10	レクサスES	38	1.4%		メルセデスベンツ	37	1.4%
上位10車種合計		1,221	50.4%	上位10車種合計		1,453	54.7%	上位10車種合計		1,446	55.7%
その他車種		1,204	49.6%	その他車種		1,203	45.3%	その他車種		1,151	44.3%
合計		2,425	100.0%	合計		2,656	100.0%	合計		2,597	100.0%

（注）ランドクルーザーには、プラドを含む。

(2) 1件あたりの支払保険金の推移 —1件あたりの車両本体盗難の支払保険金は横ばい—
 車両本体盗難1件あたりの平均支払保険金は2021年から2023年にかけてほぼ横ばい傾向となっています。

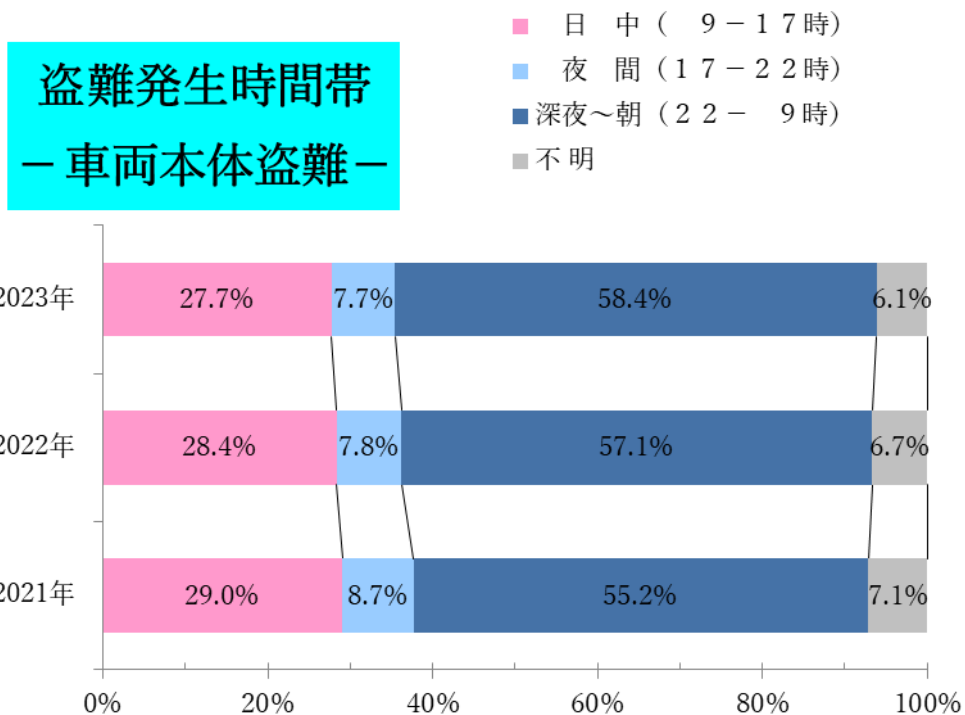
1件あたりの支払保険金の推移 (車両本体盗難)



(3) 盗難発生時間帯 —深夜から朝にかけて被害が多く発生—

2023年の車両本体盗難の発生時間帯は「深夜～朝(22～9時)」が58.4%を占め、最も多くなりました。「深夜～朝(22～9時)」の割合は2022年と比較すると1.3%増加しています。窃盗犯は深夜から朝にかけて薄暗い場所で窃盗に及ぶ傾向があると考えられます。

※構成比の各項目は小数点第2位を四捨五入しているため、表記の単純合計値が100%にならない場合があります。



その他の調査結果については、別紙「第 25 回自動車盗難事故実態調査結果」をご覧ください。
なお、以下リンクからもご覧いただけます。

【URL】 <https://www.sonpo.or.jp/about/useful/jidoshatounan/index.html>

3. 実態調査の実施概要

- ・ 調査期間：2021 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日
- ・ 調査対象：損害保険会社 21 社（損保協会非会員会社を含む）
- ・ 対象事案：全国で発生した自動車の車両本体盗難事故および車上ねらい（部品盗難含む）事故で、調査期間内に自動車盗難事故が発生し、保険金の支払いを行った事案
※代車等費用保険金のみ支払った事案なども含まれています。
- ・ 対象事案数：2023 年・・・車両本体盗難：2,597 件、車上ねらい：921 件
2022 年・・・車両本体盗難：2,656 件、車上ねらい：971 件
2021 年・・・車両本体盗難：2,425 件、車上ねらい：931 件

ご参考：自動車盗難認知件数・盗難等防止対策について

- ・ 自動車盗難認知件数は、2003 年の年間 64,223 件をピークに減少し、2023 年は年間 5,762 件となりました。（出典：警察庁「犯罪統計資料」）
- ・ 認知件数減少は、増加する自動車盗難被害に対して、当協会が参画する「自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム」が長年にわたり自動車盗難の対策および減少に向けて精力的に取り組んできた成果です。
- ・ 普段から「バー式ハンドルロックや警報装置などの盗難防止機器を使用する」「防犯設備が充実した駐車場を利用する」「貴重品は車内に放置しない」など、複数の防犯対策を講じることが有効です。また、自宅の駐車場でも安心せずに、防犯カメラや防犯灯などを利用して窃盗犯が心理的・物理的に侵入しづらくすることも重要です。